

安倍内閣の政権運営と今後の日本政治

政策研究大学院大学教授
飯尾 潤 い い ね ぶ じ ゅ ん

- * 安倍内閣の好調の原因
- * 組閣人事の巧みさ
- * 政高党低へ誘導、官僚人事に介入
- * 政権運営に閣僚間調整方式を導入
- * 国会改革、メディア戦略に目配り
- * アベノミクスを政治的にどう見るか
- * 社会保障改革と消費増税の関係
- * 規制改革にインセンティブ構造を
- * 積極外交の意味と現実
- * 成功して結果出しても不満が出る



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

秋になりました、政治のほうもこれから本番ということですけれども、今日は2年ぶりに飯尾先生に来ていただきました。安倍政権は表面き評判はいいのですけれども、本当にこういう状況で大丈夫なのかどうかという心配もなきにしもあらずで、今日はそこら辺のところも含めて、これからの安倍政権の行方につきましてお話をしていただけたと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

飯尾 ご紹介いただきました飯尾でございます。どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）

お招きいただくのは2年ぶりでありまして、前回は震災の後でもあり、あまり元気の出ないお話をしたという記憶があります。今は世の中、

株価もそこそこよろしいので雰囲気明るくなっていまして、お話がしやすいように感じております。そこで、なぜうまくいっているのかというご説明から入りたいと存じます。

ただ、基本的には好調だと見えますけれども、いつまでもそういうわけにもいかないというところもあります。甘いことばかり言っているわけにはいきませんので、この辺は絵解きをさせていただきたいと思います。

最初に、安倍晋三内閣の好調の理由です。もちろん好き嫌いはありまして、嫌いな方もあるわけですが、一般には支持率がそこそこ高く、あまり大きな問題は起こらないというのは好調だということです。

その最大の原因は、まず「民主党政権からの